

雑賀崎・田野地区を対象として景観まちづくりワークショップの 第3回を開催しました！！

雑賀崎・田野・和歌浦地区の景観まちづくりをどのように進めていくか、について話し合う景観まちづくりワークショップの第3回を、3月11日（日）に旅館太公望で開催しました。

今回は、雑賀崎・田野地区を対象として、地域の資源・問題点を話し合うとともに、現地を調査して、気づいた点や今後考えていくべき点を出し合いました。途中雨に見舞われたものの回復し、無事に調査を行うことができました。



ワークショップのプログラム等の説明

はじめに、都市整備課の前田課長からあいさつを行った後、全体のプログラムを説明の上、ワークショップの全体コーディネーターの下村 泰彦先生から今回のポイントをお話しいただきました。

- ・前回和歌浦地区を歩いて調査したのと同様に、今回も実際に現地を歩いて、雑賀崎・田野地区のことを点検していきたいと思います。
- ・雑賀崎・田野地区は、「住む場所」としての集落ですが、同時に外から「見られる場所」でもあります。
- ・長い時間をかけて生活の中で作り上げられてきたまちの形態はとても特徴的で、見る景観として興味深いものがあります。今回はそういった視点も持ちながら、歩いてみてもらいたいと思います。



ワークショップ

その後、参加者が4つの班に分かれて、雑賀崎・田野地区の景観の資源、問題点を話し合い、その上で現地調査を行い、実際に歩きながら点検をしました。

A 班：大道さん、池田さん、山野さん、堀畑さん、青山さん、西山さん

参加者の多かった田野地区について中心に話し合いました。

●田野地区の現状

【生活・習慣】

- すり鉢状の地形に、1～1.5m程度の細い道路から成り立つ漁村の形態
- 衣美須神社など漁師の信仰篤い神社があり、毎日お供え物を欠かさない
- 高齢化が進んでいて、防災（火災・津波対策）の取り組みでは問題が発生している。ゴミステーションは、夏になると釣り客に荒らされる

【田野の景観】

- 大きく目立つ色や高さの建物は無い
- 気になるのは、老朽化した旅館。荒らされたりボヤのもとになっている



●生かしていきたい資源

【遊歩道】

- 新和歌浦から雑賀崎を結ぶ遊歩道。何十年か前に整備されたが、浪早崎あたりが特に荒れ果てている
- せっかくのいい景色が見られるので、ぜひ整備・管理して活かしていきたい

【夕日を見る会】

- 大阪からも人が来ているらしい。PR などについては、行政ももっと積極的に協力してあげてはどうか。自分たちも、まずは参加してみようと思う

B 班：松井さん、土山さん、松本さん、佐野さん、小倉さん、藤本さん、前田さん

田野・雑賀崎地区代表の方より情報提供をしてもらい意見交換を行い、両地区を車で視察しました。

●地区の特徴

（田野）

- 衣美須神社、妙楽寺を中心に古くから地域としてのまとまりがある地域
- かつては漁業で栄えたが、今は衰退。漁業の衰退が地域の衰退につながっている
- 高齢化率高く、地域の維持が困難
- 集落排水を整備するなど、若者が暮らしやすい環境づくりを意識している

（雑賀崎）

- 田野同様に地域としてのまとまりは比較的強い



- ・漁業と観光で成り立ってきたが、今は完全に崩れている
- ・集落内には空き家、空き地も増えつつある

●景観的な特徴

- ・港越しに眺めるまとまりのある集落
- ・高台から見下ろす海への眺望

●地区の問題・課題など

(空き家・空き地について)

- ・集落内の空き家・空き地を視点場として整備してはどうか
- ・一方で、空き家、空き地を壊すことで建詰まり感がなくなるというメリットもあるのではないか
- ・廃業した旅館、閉鎖した保養所などがもったいない。明らかに使えない施設は景観的にも見苦しいが、使える施設は活用しないともったいない

(新住民について)

- ・地域外から人を呼び込み、空き家に住んでもらうのもあり
- ・ただ、新住民との付き合い方が難しい
- ・景観的には評価されるかもしれないが生活はしにくい。建築基準法の問題もあり建替えできないなかで、どうやって新たな住民を引き込むか

(集落内の安全性について)

- ・道は狭いし、坂は急だし、高齢者が暮らすには大変
- ・災害に対する不安（特に津波）にどう対応するか

(景観的特徴をどう出すか)

- ・印象として、田野は瓦屋根、雑賀崎は陸屋根の建物が多い印象。むしろ、それを逆手にとって特徴づけていく方法もあるのではないか

C班：林さん、池田さん、宮下さん、中口さん、小泉さん、中野さん

灯台からの風景を見たあと、両地区のまちなみを車でまわりました。

●雑賀崎・田野の景観の資源

【自然景観に恵まれている】

- ・トンガの鼻、番所公園、灯台あたりは自然景観に恵まれている
- ・雑賀崎から田野に抜けるトンネルの手前からの夕日がきれい

【地域の人の活動】

- ・灯台の周辺は、地元の人たちによって整備されている
- ・雑賀崎では、漁船から直接魚を買うことができる
- ・漁村の風景やまちの活気が観光資源
- ・この地域の人、それほど派手な建物は建てない



●今後の課題

【維持管理の問題】

- ・波早ビーチが整備され遊具が置いてあるが、維持管理がされず壊れたままである
- ・新和歌浦に抜ける遊歩道のベンチも壊れていて、使えない
- ・維持管理は誰がするのか、すべてが市というわけにはいかない
- ・初期投資などはお金の負担もあるため、しっかりと市でやっていただかないと無理

【資源の活用】

- ・案内板の整備状態が悪い
- ・駐車場が整備されていないので折角の資源が利用しにくい
- ・漁港の生業などもう少しPR出来ればよいのでは
- ・雑賀崎や田野のまち並みは、人の暮らしそのものが形になって出来たもので、少子高齢化などで空き家が増えると壊れてしまう
- ・景観とは少し離れるかもしれないが、住んでいる人の生活を守ることも考えていかないといけないのでは

D班：唐門さん、中筋さん、中口さん、西口さん、尼岡さん

田野・雑賀崎地区の資源、問題点を話し合った上で、現地調査は雑賀崎で行いました。

●地区の景観の資源

- ①眺望・・・とりわけ自然（海岸・半島）の眺望が良い
- ②集落の景観・・・家々が寄せ合っている姿
- ③生活の風景・・・漁村の中の暮らしの様子、階段がいっぱいある風景、道端に花が飾ってある風景、家の中を歩いている感覚、新鮮な魚などここにはかないものがある



●地区の問題点

【高齢化・過疎化の進行】

- ・若い人がなかなか住んでくれない、漁業も後継者がいない
- ・高齢者も生活に不便で出て行く

【空き地・空き家】

- ・空き地・空き家が増えているが、建築基準法に合わないので建て替えることができない
- ・廃旅館が増えており景観上見苦しいものもある

【不法投棄】

- ・ゴミの不法投棄が目立ち、景観上荒れたところもある

【地元の熱意】

- ・漁業の衰退が地区の衰退につながっているため、漁師がどうするか考えないといけない
- ・生きがいづくりなどにつなげていく必要、お金も回るしくみがある

●今後考えていくべきこと

【地域のイメージUP、PR】

- ・現状は外から見て、うっそうとした、少し怖いイメージもある
- ・風景で来るのは2回まで、どう付加価値をつけるかが鍵
- 漁船と直交渉できるのはとても魅力的、新鮮な魚は資源になる
- 行政のPRの仕方では十分広がらない、やり方を考える必要
- 文化的景観といったブランド化をしているところもある

【滞在・訪問・居住のバリエーション】

- ・日帰り型：ビーチ、漁港、魚つりの次にどこに行くのか、がほしい（点から線、面へ）
- ・泊まり型：旅館は経営上しんどい状況、ショート滞在型（別荘）のような形は？
- ・半住・定住型：セカンドハウスのような利用は考えられないか、大阪の中崎町は若者にも人気
- 迎え入れてもらう雰囲気作りができるかどうか、環境に惹かれる人はいる、体験してもらうのも一手

発表

各グループのメンバーが、話し合った内容を発表しました。

最後に、下村先生からコメントがありました。

- ・雑賀崎・田野地区の景観としては三つの大きな特徴があると思います。①「自然的」であること、②「生活景」として生活の中で培われてきたこと、③「漁港」としての「生業景観」があることです。
- ・このあたりでは春になると桜がきれいに咲くそうですが、自生している桜のほかに、植樹されたものもあります。みなさんの手で美しくなった景観は、これからも努力を絶やさず守り育てていきたいものです。それには、地元のみなさんの協力がとても大切だと思います。
- ・ほかにも、観光ボランティアなど、地域に詳しいみなさんだからこそできることがあります。一方行政は、規制などの面を整理することが今後必要になりそうです。
- ・今日は私も歩いていて、岬の先端部分が「見られる」景観としてとても重要だと気が付きました。あそこが乱されてしまうと、眺望景観は台無しになってしまいます。こういう重要な場所は、特に意識的に守っていく必要があります。



今回は、3月24日（土）を予定しています。これまでの現地調査や話し合いを踏まえて、意見交換をしていきたいと思えます。次回もよろしくお願いいたします。

●事務局・問い合わせ先

和歌山市 まちづくり局 都市整備部 都市整備課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地

Tel : 073-435-1082 Fax : 073-435-1367 E-mail : toshiseibi@city.wakayama.lg.jp